＝これまでの大分県緩和ケア研究会の講演内容＝

第１回 市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2000年11月18日

プログラム　講演　在宅ホスピスへの挑戦　二ノ坂 保喜さん　にのさかクリニック（福岡）院長

第２回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2001年６月16日

プログラム　がんの疼痛コントロール（第１回）　大分医科大学麻酔科　服部　政治先生
ホスピスでの看護：大分ゆふみ病院　後藤　隆子さん
在宅ホスピスの音楽療法：大分ゆふみ病院　中村　真樹さん

第３回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2001年12月１日

プログラム　ホスピスにおける在宅ホスピス・緩和ケア
熊本 イエズスの聖心病院　みこころホスピス　井田　栄一先生

第４回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2002年６月８日

プログラム　最新の癌性疼痛治療　大分医科大学　麻酔科ペインクリニック科　服部　政治先生
末期医療での輸液の功罪　木村外科緩和ケア病棟（福岡）　小早川　晶先生

第５回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2002年11月２日

プログラム　「いかに悪いニュースを患者さん家族に伝えるか」
東海大学医学部　精神神経科助教授　保坂　隆先生

第６回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2003年６月７日

プログラム　「一般病棟における緩和医療の取り組み」医師の立場から
講師：国立病院九州がんセンター　消化器部外科　原口　勝先生
「終末期における心のケア」
講師：六甲病院緩和ケア病棟　チャプレン　沼野　尚美さん

第７回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2003年11月８日

プログラム　「病院の緩和ケアチームの活動」大分県立病院　緩和ケアチーム、国立別府病院　緩和ケアチーム
大分大学医学部附属病院　緩和ケア支援チーム
「イギリスのホスピス視察報告」大分ゆふみ病院　佐藤　博文先生
「医療と宗教の協力関係」東国東広域国保総合病院　田畑　正久院長

第８回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2004年６月15日

プログラム　「がんと放射線治療」：大分大学医学部　放射線科助教授　脇坂　昌紀先生
「いつでもどこでも緩和ケア」：大分ゆふみ病院　藤富　豊氏

第９回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2004年11月27日

プログラム　「がんによる痛み以外の身体症状のコントロール」
（全身倦怠感や食欲不振、不眠、かゆみなどこまっていませんか）
「医師の立場から」講師　小早川　明（村上華林堂病院　ホスピス施設長）
「看護師の立場から」講師　後藤隆子（大分ゆふみ病院　看護師長）

第10回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2005年６月11日（土）　13：30～16：30

プログラム　「在宅と終末期のスキンケア」：梶西　ミチコ氏（福岡大学　看護相談室看護師長）
「語り合う医療」：坪山　明寛氏（大分県立三重病院　院長）

第11回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2005年11月10日（土）　13：30～16：30

プログラム　＜第１部＞朗読「葉っぱのフレディ　～いのちの旅～」
風の会：ミニコンサート（社福）暁雲福祉会「八風園♪ウィンド」
＜第２部＞「コミュニティーで支えるいのち…
在宅ホスピスのネットワークづくり」矢津　剛氏（内科消化器科クリニック（行橋市））

第12回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2006年６月17日（土）　13：30～16：30

プログラム　○講演１「がんでなぜ腕や足がむくむのでしょう？」
藤富　豊氏（みょうばんクリニック　院長）
○講演２「リンパ浮腫の予防と治療は？」
講師　ストックウェル　ゆきえ氏（みょうばんクリニック　リンパ浮腫指導士）
○講演３「大分県のがん終末期医療の現状と問題点」
講師　山岡　憲夫氏（大分ゆふみ病院　院長）

第13回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2006年11月11日（土）　13：00～16：30

プログラム　＜１部＞　基調講演：「緩和ケア病棟から病院、そして在宅まで」
講師　本家　好文氏（広島県緩和ケアセンター　センター長）
＜２部＞　ワークショップ「大分での在宅緩和ケアの取り組み」
１）「終末期がん患者の在宅医療の実態　－大分県下のアンケート調査結果から」
講師　寺町　芳子氏（大分在宅緩和医療ネットワーク研究会　代表）

2）「在宅療養を望む終末期がん患者やその家族の支援」
講師　工藤　武子氏（訪問看護ステーションおおいた　訪問看護師）
3）「診療所による在宅ホスピスケア　－自分らしく「今」を生きるために－」
講師　小野　隆宏氏　（ハートクリニック　院長）
4）「病院、診療所における終末期在宅ケア　－"畳の上で死ぬ"ために－」
講師　麻生　哲郎氏　（天心堂へつぎ診療所　所長）

第14回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2007年6月30日（土）　13：00～16：30

プログラム　＜講演１＞　「"母さんの家"の実践から見えてきたもの－施設介護から、地域での相互扶助の在宅介護の方向へ－」
講師　市原　美穂氏　　（ホームホスピス宮崎　理事長）
＜講演２＞　「オーストラリアの終末期医療の現状　－ 緩和ケアの三角について －」
講師　内野　由美子氏、 安坂　美穂氏（中津市民病院　看護師）
＜講演３＞　「在宅を支える医療のネットワーク　－ 長崎在宅Ｄｒ.ネット －」
講師　藤井　卓氏（藤井外科医院　院長）

第15回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2007年11月17日（土）　13：00～16：30

プログラム　テーマ："がんの告知を考える"
Ⅰ）講演　『がんの告知について』：原口　勝氏（福岡緩和ケア研究会　代表世話人）
Ⅱ）ワークショップ（14:30～）『それぞれの立場からがんの告知について考える』
医　　師：福澤　謙吾（大分赤十字病院　外科部長）
看　護　師：黒田　初美（大分県立病院　看護師長）
が ん 患 者：山崎　英治（63歳男性）「私が受けたがん告知」
がん患者家族：原田　謙一郎（福岡県　自助グループ　あかね）

第16回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2008年6月14日（土）　13：30～16：30

プログラム　テーマ："緩和ケアチームの現状と課題"
Ⅰ）基調講演：　佐藤　英俊先生（佐賀大学医学部　地域包括緩和ケア科　教授）
Ⅱ）ワークショップ：　各病院の緩和ケアチーム現状と課題（４病院）
1）大 分 県 立 病 院　緩和ケアチーム：谷口　由美看護師
2）大分赤十字病院　緩和ケアチーム：
3）大分医療センター　緩和ケアチーム：牛島　千衣先生
4）別府医療センター　緩和ケアチーム：武内　秀也先生

第17回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2008年11月22日（土）　13：00～16：30

プログラム　テーマ："マザーテレサに学ぶ　～そのこころと愛～"
Ⅰ）講演①「マザーテレサの映画と千葉監督の講演」　千葉　茂樹氏（映画監督）
Ⅱ）講演②「マザーテレサに学ぶ命の紡ぎ方」堂園　晴彦氏（堂園メディカルハウス　院長）

第18回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2009年6月13日（土）　13：00～16：00

プログラム　テーマ："子供のがんの緩和ケアについて"
Ⅰ）基調講演　「小児の緩和医療におけるトータルケア」稲田　浩子氏（久留米大學小児科）
Ⅱ）ワークショップ：14：30～16：00「それぞれの立場から子供のがんについて」
①患者家族の立場から：秋月　篤子氏（子どもを亡くした親の会"風の会"代表）
②看 護 師 の 立 場 か ら：坂本　久美氏（大分大学附属病院　小児病棟）
③医 師 の 立 場 か ら：糸長　伸能氏（大分県立病院　小児科副部長）
④看護教育の立場から：高野　政子氏（大分県立看護学大学　小児看護学教授）

第19回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2010年6月12日（土）　13：00～16：10

プログラム　テーマ："がん患者を支える緩和ケアとは　－寄り添い、もてなし、元気づける－"
Ⅰ）基調講演　「緩和ケアの本質　～全人的ケア、死から生といのちを考える～」
高宮　有介氏　　（昭和大学医学部　医学教育推進室　専任講師）
Ⅱ）活動報告
①「人生という旅の途中で　～ホスピスマインドのお宿へようこそ～」
木村　智秋氏（由布院温泉　旅館　昔噺（むかしばなし）女将）
②「勇気と希望、笑顔のリレーフォーライフ大分！」
平野　登志雄氏、山本　克枝氏（リレーフォーライフ大分　実行委員）

第20回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2010年12月18日（土）　13：00～17：00

プログラム　テーマ："緩和ケアのめざすもの"
Ⅰ）基調講演　『在宅ホスピス20年をふり返って　ー日本のホスピスの転換点に立つー』
二ノ坂　保喜 先生（にのさかクリニック　院長）
Ⅱ）ワークショップ　『緩和ケアのめざすもの　ーそれぞれの立場からー』
①がん拠点病院の医師の立場から：
赤嶺　晋治 先生（大分県立病院　緩和ケア室　室長）
②緩和ケア病棟の医師の立場から：
奥平　敏章 先生（黒木記念病院　緩和ケア病棟医）
③一般病院の認定看護師の立場から：
稲生　野麦さん（大分東部病院　緩和ケア認定看護師）
④イギリスの最新の緩和ケア現状から　ー緩和ケアのめざすものー：
木野村　悦子さん（やまおか在宅クリニック　緩和ケア認定看護師）

第21回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2011年7月2日（土）　13：00〜17：00

プログラム　テーマ：【がん患者さんのこころの叫びとそのケア】
Ⅰ）基調講演　『また会える“さようなら”』
佐藤　雅彦　先生（大正大学講師・浄土宗浄心寺住職・日本死の臨床研究会　常任世話人）
Ⅱ）ワークショップ　『がん患者さんのこころの声を聞こう！』
①がん患者の立場から、どうしたら良い医療を受けられるのか
大石　洋輔さん（アルメイダ病院がん患者・家族会“和笑（なごみ）の会”世話人）
②がん患者さんのこころの声を聞こう（鹿児島県から）
三好　綾さん（NPO法人がんサポートかごしま　理事長）
③がん患者さんを支える　〜がん相談支援センターの取り組み〜
町田　朱美さん（大分県立病院　がん相談支援センター）
④特別発言
1、がん患者を支援する大分リレーフォーライフから　実行委員長：平野 登志雄さん
2、医師の立場から：大分県立病院、緩和ケア室長　赤嶺　晋治さん

第22回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2011年12月10日（土）　13：00〜17：00

プログラム　テーマ　【いのちの大切さとは】
1）特別講演Ⅰ）
『佐賀県小中学校、看護学生に対する“いのちの授業から”　ー生徒も先生も変わって行くー』
五十嵐　雄道 先生（円光寺住職：佐賀ホスピスを進める会会員）
2）活動報告
『イギリスとバングラデシュの医療活動の視察から“いのち”を考える』
髙山　朋子 さん（看護師：医療法人カーサミア　やまおか在宅クリニック）
3）特別講演Ⅱ）
『限りある“いのち”をめいっぱい生きる！サバイバーの底力』
坂下　千瑞子 先生（医師：東京医科歯科大学　医歯学融合教育センター）

第23回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2012年6月30日（土）　13：30〜16：30

プログラム　テーマ　【あなたに伝えたい、生きる力とは】
1）特別講演Ⅰ）
『風に立つライオンの想い　ー患者さんに学ぶ人生　“LOVEメッセージ”に託してー』
柴田　紘一郎 先生（サンヒルきよたけ施設長、前宮崎県立日南病院　院長）
2）特別講演Ⅱ）
『がん患者となって伝えたいこと、サバイバーの底力』
山本　克枝 さん（リレーフォーライフ　in大分：実行委員長）
3）活動報告
①『新しい緩和ケア病棟の紹介』
首藤　真理子 先生　（医　師：大分市医師会立アルメイダ病院　緩和ケア内科　部長）
②『がん在宅療養推進コーディネーター事業について』
木野村　悦子 さん　（看護師：やまおか在宅クリニック　緩和ケア認定看護師長）

第24回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2012年12月22日（土）　13：30〜16：30

プログラム　テーマ　【東日本大震災からいのち伝える】
1）特別講演Ⅰ）13：40〜14：30
『東日本大震災から今伝えたいこと（被災医師の想い）』
村上　雅彦　先生（大船渡病院（岩手県）　緩和医療科長）
2）活動報告Ⅰ）14：40〜15：20
『大分から被災地へ：赤ちゃん助け隊のボランティア活動』
緒方　俊一　先生（おがた泌尿器科医院（大分市）　院長）
3）音楽15：30〜15：50
『大切な人に寄り添って…』
アンサンブル・フリージア
4）活動報告Ⅱ）16：00〜16：30
『突然死で娘を失った母親の震災被災者への想い』
川野　淳子さん（佐伯中央病院　緩和ケア病棟　看護師）

第25回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2013年5月25日（土）　13：30〜16：30

プログラム　テーマ　【他職種のチームによる緩和ケアについて】
1）特別講演Ⅰ）13：40〜14：30
『がん患者の他職種連携による緩和ケアについて』
吉田　晋 先生（社会医療法人栄光会栄光病院（福岡県）副院長・ホスピス長）
2）シンポジウム14：40〜16：30
①薬剤師として：菅田　佳子 先生
〜大分市医師会立アルメイダ病院　薬剤師〜
②理学療法士として：竹村　仁 先生
〜臼杵市医師会立コスモス病院　リハビリテーション部　室長〜
③栄養士として：池辺　ひとみ 先生
〜大分県立病院　栄養管理部　副部長　管理栄養士〜
④臨床心理士として：西村　育子 先生
〜国立病院機構　別府医療センター　臨床心理士〜
⑤音楽療法士として：安部　ゆかり 先生
〜ハートクリニック　音楽療法士〜

第26回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2013年11月30日（土）　13：30〜16：30

プログラム　テーマ　【高齢社会から多死社会における緩和ケア】
1）特別講演13：40〜14：30
『超高齢多死社会における緩和ケアについて』
矢津　剛 先生〜矢津内科消化器科クリニック院長、在宅療養支援施設「ひと息の村」代表〜
2）シンポジウム14：40〜16：30テーマ：高齢者社会における終の棲家と緩和ケアについて
①ホームでの看取り：介護現場での看取りケアについて
〜塚川第一病院　介護部部長　小倉　礼子さん〜
②在宅での看取り：家族の力
〜大分豊寿苑訪問看護ステーション管理者　訪問看護認定看護師　佐々木　真理子さん〜
③一般病院での看取り：当院における看取りの現状について
〜臼杵市医師会コスモス病院　副院長　外科　荒巻　政憲 先生〜
④新規緩和ケア病棟の看取り：天心堂が考える高齢・多死社会に提供する緩和ケア
〜社会医療法人財団天心堂へつぎ病院　副院長　緩和ケア病棟　林　良彦 先生〜

第27回市民公開緩和ケアセミナー

日　　時　2014年5月24日（土）　13：30〜16：30

プログラム　テーマ　【地域の緩和ケアの広がり】
1）特別講演13：40〜14：30
『緩和ケアのひろがり―幸せな最期を迎えるために―』
山岡　憲夫 先生　〜やまおか在宅クリニック　院長〜
2）シンポジウム14：40〜16：30
テーマ：緩和ケアの広がり（病院、緩和ケア病棟、在宅）について
①がん拠点病院として：
『地域で緩和ケアを受ける患者の支援　―地域がん診療連携拠点病院から地域へ』
〜大分赤十字病院　医療連携・患者支援センター　がん相談支援室看護係長
緩和ケア認定看護師　尾立　和美さん〜
②緩和ケア病棟として：
『緩和ケアの広がり　〜緩和ケア病棟から地域へ〜』
〜大分県厚生連鶴見病院　緩和ケア病棟主任（外来化学療法室兼任）
がん化学療法看護認定看護師　金谷　あかねさん〜
③訪問看護師として：
『在宅看取りを支える福岡地域の取り組み　〜生活（人生）を紡ぐということ〜』
〜訪問看護ステーションはな　統括所長　平野　頼子さん〜

第28回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2015年2月21日（土）　13：00〜16：50

プログラム　1）教育講演Ⅰ 13：05〜16：50
『ホスピスにおける鎮静』
〜社会医療法人栄光会　栄光病院　副院長・ホスピス主監　吉田　晋 先生〜
2）一般演題Ⅰ 14：00〜15：00
①『当院における緩和ケア患者に対する神経ブロック療法の紹介と退薬徴候症例の報告』
〜大分大学医学部附属病院　緩和ケア支援チーム　医師　椎原　啓輔 先生　〜
②『造血器悪性腫瘍終末期におけるPalliative Prognostic Indexの有用性の検討』
〜大分市医師会立アルメイダ病院　緩和ケア内科・血液内科　医師　大野　栄治 先生〜
③『当院における緩和ケアチームの取り組み』
〜大分医療センター　緩和ケアチーム　がん性疼痛看護認定看護師　廣田　紘子 先生〜
④『「その人らしさ」を支える緩和ケア　―患者が希望する我が家に帰りたい、帰れない―』
〜大分県厚生連鶴見病院　緩和ケア認定看護師　水野　佳代 先生〜
3）教育講演Ⅱ 15：10〜16：00
『がん患者の「怒り」を読み解き、ケアを工夫する
―怒りは人生の歴史からスピリチュアルな領域まで物語る―』
〜大分県厚生連鶴見病院　臨床心理士　加藤　真樹子 先生〜
4）一般演題Ⅱ 16：00〜16：50
⑤『在宅復帰を希望していたが、退院できなかった症例について』
〜高田中央病院　機能訓練科　作業療法士　宮本　知子 先生〜
⑥『つなぐ　〜作業療法士として末期がん患者との関わりから学んだこと〜』
〜ハートクリニック　作業療法士　　利光　佳子 先生〜
⑦『「がん川柳五・七・五」〜がん患者の思いを川柳に乗せて〜』
〜大分医療センター　医療ソーシャルワーカー　岡江　晃児 先生〜

第29回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2015年7月25日（土）　13：30〜16：30

プログラム　1）基調講演　13：30〜14：20
『非がん患者の緩和ケア　―がんではない患者さんへの緩和ケアからend of life careを考える―』
〜齋藤　如由 先生　医療法人社団五雲堂　齋藤医院〜
2）シンポジウム14：30〜16：30
シンポジウムテーマ　『種々の疾患と緩和ケア』
①『ALS患者の緩和ケア』
〜山本　真 先生　大分協和病院　院長〜
②『認知症の人への終末期ケアについて』
〜佐藤　愼二郎 先生　佐藤医院　院長、由布物忘れネットワーク　コーディネーター〜
③『緩和ケア支援チームが関わった非がん患者』
〜奥田　健太郎 先生　大分大学医学部麻酔科学講座　講師〜
④『在宅で看取る意義―効果的ケアと次世代の教育』
〜大坪　洋子 先生　元大分県立病院　看護師長〜

第30回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2016年3月26日（土）　13：00〜17：20

プログラム　1）特別講演　13：05〜14：05
『Whole Person Care：新たな全人的ケアによるパラダイムシフト』
恒藤　暁　（京都大学医学部附属病院 緩和医療科　教授）
2）一般演題Ⅰ　14：15〜15：10
①『緩和ケアの一助となる回想法と医療方言アプローチの有用性とピットフォール』
森本　卓哉　(みえ記念病院　副院長）
②『緩和ケア病棟入院患者さんによる"命の授業"の取り組み』
林　良彦　（天心堂へつぎ病院　緩和ケア総合診療部長）
③『在宅ホスピスを語る会の実践報告』
金﨑　美穂　（にのさかクリニック　緩和ケア認定看護師）
④『「フェイススケールの痛みチェック表」を使用して痛みが緩和された事例』
前原　理佳　（まえはら調剤薬局　薬剤師）
3）新しい緩和ケア病棟の紹介　15：10〜15：35
①中津胃腸病院　緩和ケア病棟　　深野　昌宏（院長）
②大分県済生会日田病院　緩和ケア病棟　　仁田　亜由美（麻酔科医長）
4）一般演題Ⅱ　15：45〜16：35
⑤『緩和ケア病棟における鎮静について考える　一看護師が抱える現状とストレス軽減に向けて』
川野　淳子　（佐伯中央病院　緩和ケア病棟　看護師）
⑥『頻回なナースコールへの対応に苦慮した40代胃癌脳転移患者』
伊美　美有紀　（高田中央病院　看護師）
⑦『「小規模多機能型居宅介護ならではの緩和ケアについて」ホームから在宅まで
〜介護現場での看取りケアについて〜』
梶原　翼　（小規模多機能ホームつかがわ　介護福祉士）
⑧『生命危機的な状況でも自宅での療養を希望した乳がん患者を支えて』
福田　奈可子　（訪問看護ステーション　ハンズ　訪問看護師）
5）一般演題Ⅲ　　16：40〜17：20
⑨『気持ちと暮らしをつなぐＭＳＷの役割』
林　美穂　（佐藤第一病院　医療ソーシャルワーカー）
⑩『「住み慣れた地域で暮らしたい」を叶える在宅医療・介護連携』
牧　美幸　（臼杵市医師会立コスモス病院　緩和ケアチーム　看護師）
⑪『認知症にて肺炎を併発した事例の看取りを振りかえる』
永坂　佳代子　（ハートクリニック　作業療法士）

第31回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2016年9月24日（土）　13：30〜16：30

プログラム　1）特別講演　　13：30〜14：20
『熊本地震　災害医療の現場を体験して』
永田　壮一　　（上益城郡医師会　会長/東熊本病院＜熊本県上益城郡＞　院長）
2）シンポジウム　14：30〜16：30
①『JCHO湯布院病院における被災およびその後』
根橋　良雄　（JCHO湯布院病院　院長）
②『熊本市での震災経験』
白石　文美恵　（医療法人桜十字　桜十字病院　麻酔科医長）
③『熊本・大分地震における大分県薬剤師会モバイルファーマシーを活用した災害医療活動で見えたもの』
伊藤　裕子　（公益社団法人 大分県薬剤師会 災害対策委員会）
④『熊本地震での災害医療対応を振り返って〜行政の立場から〜』
西永 和夫　（大分県　福祉保健部　医療政策課　地域医療政策監）

第32回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2017年1月28日（土）　13：30〜16：30

プログラム　1）教育講演Ⅰ　　13：30〜14：20
『治療と療養を支える緩和ケア　〜好生館の取り組み〜』
小杉　寿文　　（佐賀県医療センター好生館　緩和ケア科部長）
2）教育講演Ⅱ　　14：30〜15：00
『緩和ケアにおける援助的コミュニケーション　〜傾聴の理論と方法について〜』
齊藤　友子　（別府溝部学園短期大学幼児教育学科　准教授）
3）一般演題　　15：10〜16：30
①『遺族調査から見えてきた緩和ケア病棟に入院するまでの患者・遺族の気持ちと治療医に対する提案』
林　良彦　（天心堂へつぎ病院　緩和ケア総合診療部長）
②『緩和ケアの一助となる回想法に有用な資料（写真アルバム）の作成』
森本　卓哉　（みえ記念病院　副院長）
③『乳がん末期・統合失調症看取りまでの関わり』
内藤　えい子　（わさだ訪問看護ステーション）

第33回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2017年8月26日（土）　13：30〜16：40

プログラム　1）特別講演　　13：30〜14：30
『誰にでも、どこででも、どんな時も、緩和ケアを』
〜ホームホスピスはまちづくり〜
市原　美穂　　（ホームホスピス宮崎　理事長）
2）シンポジウム　14：40〜16：40
テーマ：〔どこでも緩和ケアを！〕
①『望んだ場所で過ごすために、緩和ケア病棟で考えたこと』
大野　栄治　（大分市医師会立アルメイダ病院　緩和ケア内科：緩和ケア内科部長）
②『在宅緩和ケアの訪問看護の実際』
中村　陽子　（訪問看護ステーションすみれ：緩和ケア認定看護師）
③『医療現場における臨床宗教師の実践〜いのちのケアに取り組む〜』
田中　至道　（沼口医院＜岐阜県＞：臨床宗教師）
④『繋がり　つづく　リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分とがんサロン』
山本　克枝　（リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分実行委員会：実行委員長）

第34回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2018年2月24日（土）　13：00〜17：10

プログラム　1）教育講演Ⅰ　　13：05〜14：05
『日本的なスピリチュアルケアを目指して　〜臨床宗教師の視点から〜』
谷山　洋三　（東北大学大学院文学研究科　准教授）
2）一般演題Ⅰ　　14：10〜15：10
①『中学生に対するがん教育』
林　良彦　（天心堂へつぎ病院　緩和ケア総合診療部長）
②『がんサロン「太陽のカフェ　フィーカ」の活動報告』
佐藤　由香　（大分中村病院　地域医療連携課　ソーシャルワーカー）
③『末期食道がん患者の食と外泊支援』
平井　雅子　（JCHO湯布院病院　看護師）
④『緩和ケア外来の開設と現状』
赤嶺　晋治　（大分県厚生連鶴見病院　緩和ケア科　特任副院長）
3）教育講演Ⅱ　　15：20〜16：05　座長：林　良彦（天心堂へつぎ病院　緩和ケア総合診療部長）
『スピリチュアリティを支えるリハビリテーション』
林　邦男　（栄光病院　リハビリテーション課　課長　理学療法士）
4）一般演題Ⅱ　　16：10〜17：10　　座長：小野　隆宏（ハートクリニック　院長）
尾立　和美（大分赤十字病院　緩和ケア認定看護師）
⑤『緩和ケアにおける理学療法士としてのかかわり』
小林　弘樹　（天心堂へつぎ病院　リハビリテーション科　理学療法士）
⑥『反復する誤嚥性肺炎患者への嚥下訓練の一例』
宮﨑　秀人　（隈診療所　院長）
⑦『患者の意思決定を支える取り組み〜療養場所に焦点をあてて〜』
黒木　真由美　（大分県厚生連鶴見病院　緩和ケア病棟　副師長）
⑧『緩和ケアにおける有床診療所の役割と課題』
佐藤　美和子　（ハートクリニック　病棟看護師）

大分県緩和ケア研究会　特別企画セミナー

日　　時　2018年7月27日（金）　18：00〜21：00

テーマ【エンドオブライフ・ケアを学ぶ　ー小澤先生からのメッセージ】
『死を前にした人にあなたは何ができますか　〜住み慣れた地域で人生の最後まで過ごすために〜』
小澤　竹俊（めぐみ在宅クリニック　院長）

第35回大分県緩和ケア研究会　市民公開講座

日　　時　2018年9月22日（土）　13：30〜16：40

プログラム　テーマ：【非がんの緩和ケアの広がり】
1）特別講演　13：30〜14：30　座長：林　良彦（天心堂へつぎ病院　緩和ケア総合診療部長）
『医療連携で拡充する心不全の緩和ケア』
大石　醒悟　（兵庫県立姫路循環器病センター　循環器内科　医長）
2）シンポジウム　14：40〜16：40 座長：山岡 憲夫（やまおか在宅クリニック 院長）
尾立 和美（大分赤十字病院　緩和ケア認定看護師）
テーマ：【非がんの緩和ケアの広がり】
①『呼吸困難と呼吸器疾患の緩和ケア』
梅木　健二　（大分大学医学部附属病院　呼吸器内科　診療准教授）
②『認知症を「より良く生きる」ために　〜"認知症緩和ケア"という考え方〜』
山内　勇人　（わかば台クリニック　副院長）
③『超高齢者・老衰の緩和ケアについて　〜100歳以上看取り例の経験を通して』
宮﨑　秀人　（隈診療所　院長）
④『アドバンス・ケア・プランニングがもたらすその人を尊重した緩和ケアの実践』
寺町　芳子　（大分大学医学部看護学科　教授）

第36回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2019年2月23日（土）　13：30〜16：30

プログラム　テーマ【緩和ケアからエンディングまで】
1）特別講演　　13：30〜14：30　座長：藤富　豊（大分県厚生連鶴見病院　顧問）
『日本人の生きがい感から、終末期とACPを考える』
カール・ベッカー　（京都大学大学院　政策のための科学ユニット　特任教授）
2）一般演題Ⅰ　　14：40〜15：10　座長：赤嶺　晋治（大分県厚生連鶴見病院　緩和ケア科　特任副院長）
①『生命の予後予測2ヶ月でACPを行った1事例』
林　良彦　（天心堂へつぎ病院　緩和ケア総合診療部長）
②『当院における耐え難い苦痛のある患者の多職種カンファレンスと鎮静の実際』
山下　勝代　（大分市医師会立アルメイダ病院　緩和ケア病棟　看護師）
3）一般講演　　15：20〜16：00　座長：山岡　憲夫（やまおか在宅クリニック　院長）
『「死生」について考える文化づくり　〜きつき終活応援プロジェクトを通して』
岡江　晃児　（杵築市医療介護連携課　企画政策係　主査・ソーシャルワーカー）
4）一般演題Ⅱ　　16：00〜16：30　座長：小野　隆宏（ハートクリニック　院長）
③『「食べたい」に最後まで寄り添うために
〜ALS一例の経過報告と摂食嚥下障害者支援における課題について〜』
立川　賢佑　（隈診療所　言語聴覚士）
④『当院の在宅看取り例の検討』
亀井　たけし　（けんせいホームケアクリニック　所長）

第37回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2019年7月19日（金）　18：30〜20：30

プログラム　1）特別講演　　18：30〜20：30　　座長：山岡　憲夫（やまおか在宅クリニック　院長）
『人生の最期まで安心して過ごせる社会をめざして　〜苦しむ人と関わる担い手を地域に増やす〜』
小澤　竹俊　（めぐみ在宅クリニック　院長／一般社団法人　エンドオブライフ・ケア協会　代表理事）

大分県緩和ケア研究会　特別企画

日　　時　2019年7月20･21日（土・日）　18：30〜20：30

プログラム　『エンドオブライフ・ケア援助者養成基礎講座in 大分』
小澤　竹俊　（めぐみ在宅クリニック　院長／一般社団法人　エンドオブライフ・ケア協会　代表理事）
1日目10：00〜18：30　・　2日目10：00〜18：00
■1. 課題背景（2025年問題に備えて）■2. 人生の最終段階に共通する自然経過■3. 苦しむ人への援助と5つの課題■4. 意思決定支援■5. 自宅・介護施設で求められる症状緩和■6. 多職種連携で「援助」を言葉にする（マクロ）■7. 1対1で対応する（ミクロ）

第38回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2020年2月1日（土）13：30〜16：30

プログラム　テーマ【アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を考える】
1）特別講演Ⅰ　13：30〜14：20　座長：山岡　憲夫　（やまおか在宅クリニック　院長）
『実践！ ACPの進め方』
満岡　聰　（医療法人 満岡内科クリニック　理事長・日本尊厳死協会　理事／さが会長）
2）特別講演Ⅱ　14：30〜15：30　座長：尾立　和美　（大分赤十字病院　緩和ケア認定看護師）
『「悩み、気持ちが揺れ、決めきれない」を支えるACPのために
— 宮崎市が目指すACPは「安心、ちゃんと、ぽっくり」？ —』
板井　孝壱郎　（宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野　教授
宮崎大学医学部附属病院　中央診療部門　臨床倫理部　部長）
3）一般演題　15：40〜16：30　座長：大野　栄治　（大分市医師会立アルメイダ病院　緩和ケア内科部長）
①『最終段階の患者さんの意思決定支援が困難であった症例』
林　良彦　（フリーランス緩和ケア医師）
②『疾患・症状の異なる4事例　（ALS、心不全、末期がん、重度認知症）のACP実践報告』
小野　隆宏　（医療法人優心会　ハートクリニック　院長）
③『医療者における意思決定支援、アドバンス・ケア・プランニングの意識調査』
赤嶺　晋治　（大分県厚生連鶴見病院　緩和ケア科　特任副院長）

第39回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2020年10月17日（土）13：30〜15：30　オンライン開催

プログラム　テーマ【新型コロナウイルスと緩和ケア】
1）特別講演Ⅰ　13：30〜14：10　座長：山岡　憲夫　（やまおか在宅クリニック　院長）
『コロナ禍での「絆」のケア＝スタッフの苦悩と喜び＝』
中橋　恒　（松山ベテル病院　院長／第44回日本死の臨床研究会年次大会　大会長）
2）特別講演Ⅱ　14：20〜14：50　座長：尾立　和美　（大分赤十字病院　緩和ケア認定看護師）
『新型コロナウイルス感染症患者を受け入れて』
大津　佐知江　（大分県立病院　看護師長／感染管理認定看護師）
3）シンポジウム　15：00〜15：30　座長：赤嶺　晋治　（大分県厚生連鶴見病院 緩和ケア科 特任副院長）
『大分県内各医療機関でのコロナ対応』
①独立型ホスピスでの対応　堺　千代　（大分ゆふみ病院　看護師長）
②緩和ケア病棟での対応　大野　栄治　（大分市医師会立アルメイダ病院　緩和ケア内科部長）
③緩和ケアチームでの対応　奥田　健太郎　（大分大学医学部附属病院　緩和ケアセンター長）
④在宅緩和ケア診療所での対応　山岡　憲夫　（やまおか在宅クリニック　院長）

第40回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2021年3月27日（土）13：30〜16：10　オンライン開催

プログラム　テーマ【こころのケア＝がん患者、コロナ禍】
1）教育講演Ⅰ　13：30〜14：20　座長：藤富　豊　（大分県厚生連鶴見病院　顧問）
『がん患者家族の心のケア　— 緩和ケア病棟専従医・在宅医の経験から —』
赤嶺　晋治　（やまおか在宅クリニック　特任副院長／日本緩和医療学会　認定医・代議員）
2）特別講演　14：30〜15：10　座長：堺　千代　（大分ゆふみ病院　看護師長）
『新型コロナウイルス感染症奮闘記』
大津　佐知江　（大分県立病院　看護師長／感染管理認定看護師）
3）教育講演Ⅱ　15：20〜16：10　座長：福山　康朗　（中津市立中津市民病院　がんセンター長）
『コロナ禍で対応する医療者（援助者）のメンタルヘルス　〜レジリエンス（折れない心）を育むコツ〜』
加藤　真樹子　（大分県厚生連鶴見病院　臨床心理科　係長／公認心理師・臨床心理士）

第41回大分県緩和ケア研究会

日　　時　2023年3月25日（土）13：30〜16：00　オンライン開催

プログラム　テーマ【コロナ禍の緩和ケア・アフターコロナに向けて】
1）特別講演　13：30〜14：20　座長：大野　栄治　（アルメイダ病院　緩和ケア内科部長）
『コロナ禍の終末期患者のこころのケア　— スピリチュアルケア —』
清田　直人　（栄光会　栄光病院　チャプレン）
2）シンポジウム　14：30〜15：50　座長：赤嶺　晋治　（やまおか在宅クリニック　副院長）
尾立　和美　（大分赤十字病院　緩和ケア認定看護師）
『コロナ禍の現状と取り組み・アフターコロナに向けて』
①一般病棟から　水野　佳代　（大分県厚生連鶴見病院　緩和ケア認定看護師）
②緩和ケア病棟から　堺　千代　（大分ゆふみ病院　看護師長）
③在宅医療から　山岡　憲夫　（やまおか在宅クリニック　院長）
④介護施設から　工藤　美奈子　（福祉の杜　いまじん　代表取締役）